

農 研 速 報

平成 28 年 6 月 21 日発行



県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(6月16日現在, 龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月27日	「あきたこまち」 幼穂形成期 「コシヒカリ」 最高分けつ期	「あきたこまち」 平年並 (幼穂長からの 出穂予測) 「コシヒカリ」 4日早い (主稈葉数からの 予測)	◇4月第6半旬～6月第3半旬は、平均気温が平年よりやや高く(+0.4℃)、日照時間は平年並。 「あきたこまち」は、6月16日時点で幼穂が0.5mm確認でき、幼穂長から予測される出穂期は平年並で、7月14日頃(今後気温が平年並に推移した場合)。「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は平年より4日早い。 平年に比べ、両品種の草丈はやや長く、茎数は「あきたこまち」で多く、「コシヒカリ」でやや多い。また、葉色は「あきたこまち」で淡く、「コシヒカリ」は並。 ◆今後の栽培管理 (1)「あきたこまち」は間断灌漑を行う。ただし、減数分裂期頃(出穂前 8～15 日)に17℃以下の低温が予想される場合、障害型冷害を回避するため、水深10 cm以上の深水管理を行う。 「コシヒカリ」は6月第6半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、間断灌漑に移行する。 (2)穂肥は幼穂長を確認し適期に行う。穂肥の施用時期の目安は「あきたこまち」で出穂前18～20日頃(幼穂長3～10mm)、「コシヒカリ」で出穂前15日頃(幼穂長30mm)、「ふくまる」で出穂前18日頃(幼穂長10mm)である。	間断灌漑は 3～4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す。 ●イネ縞葉枯病の防除 昨年、イネ縞葉枯病の発生が認められた地域で、本年ウンカ類に登録のある薬剤で育苗箱施薬を行わなかった水田では、6月下旬にヒメトビウンカの防除を行う。 ●いもち病に注意 気温 20～25℃で、弱い雨や霧などが続いてイネの葉が長時間濡れるような条件のとき発生しやすいので注意する。 ●いもち・紋枯病の発生する圃場では、玄米千粒重の低下と乳白米の発生が懸念されるため、早期に防除を行う。

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	5 月 7 日	「あきたこまち」 節間伸長開始期 「コシヒカリ」 最高分げつ期	2 日程度 早い	<p>◇5 月第 2 半旬～6 月第 3 半旬は、平均気温が平年よりやや高く(+0.4℃)、日照時間は平年並。</p> <p>主稈葉数の展開からみた「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は、平年より 2 日程度進んでいる。</p> <p>平年に比べ、両品種の草丈は長く、茎数は多く、葉色は並。</p> <p>◆今後の栽培管理</p> <p>「あきたこまち」は 6 月第 5 半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、その後は間断灌漑を行う。ただし、低温が予想される場合には、障害不稔の発生を軽減するため、穎花分化期～減数分裂期(出穂前 25～12 日)にかけて水深 10cm 以上の深水管理を行う。</p> <p>「コシヒカリ」は 7 月第 1 半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、間断灌漑に移行する。</p>	

水 稲 の 生 育 状 況

(水田利用研究室)

表1 4月27日移植 (龍ヶ崎市, 移植後50日, 6月16日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	50.8	91 (55.7)	107 (47.4)	860	113 (761)	120 (719)	3.8	-0.5 (4.3)	-0.7 (4.5)	35.6	-1.4 (37.0)	-3.8 (39.4)	9.8	+0.5 (9.3)	+0.4 (9.4)
コシヒカリ	50.9	89 (57.4)	105 (48.5)	929	110 (841)	115 (807)	4.1	+0.1 (4.0)	-0.1 (4.2)	35.7	+1.1 (34.6)	-0.8 (36.5)	9.8	+0.4 (9.4)	+0.4 (9.4)
ふくまる	54.5	98 (55.7)	100 (54.3)	804	117 (689)	112 (719)	4.0	-0.2 (4.2)	-0.1 (4.1)	35.8	+0.7 (35.1)	-0.5 (36.3)	10.5	+0.7 (9.8)	+0.4 (10.1)

表2 5月6日移植 (龍ヶ崎市, 移植後40日, 6月15日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	47.0	101 (46.5)	115 (40.7)	827	114 (728)	120 (687)	4.6	-0.2 (4.8)	-0.1 (4.7)	41.9	+0.1 (41.8)	+1.2 (40.7)	9.1	-0.3 (9.4)	+0.2 (8.9)
コシヒカリ	46.7	106 (44.2)	114 (41.0)	923	115 (803)	123 (752)	4.2	-0.2 (4.4)	-0.3 (4.5)	38.5	+0.4 (38.1)	+0.2 (38.3)	9.1	-0.4 (9.5)	+0.2 (8.9)

注)栽培概要

1. 苗質 : 稚苗
2. 植え付け本数 : 5本/株
3. 栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/m²
ふくまる 18.5株/m²

4. 基肥量 あきたこまち N : P₂O₅ : K₂O = 0.7 : 0.7 : 0.7 (kg/a)
コシヒカリ N : P₂O₅ : K₂O = 0.6 : 0.6 : 0.6 (kg/a)
ふくまる N : P₂O₅ : K₂O = 0.8 : 0.8 : 0.8 (kg/a)

5. 平年値 : 平成23～27年の5年間の平均値

ふくまるは平成25年からの調査のため, 平年値は
平成25～27年の3年間の平均値

表3 幼穂長からみた出穂期予測

移植時期	品 種	調査日	主稈幼穂長		出穂期予測		
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
4/27移植	あきたこまち	6/16	0.5	0.2	7/14	7/14	±0

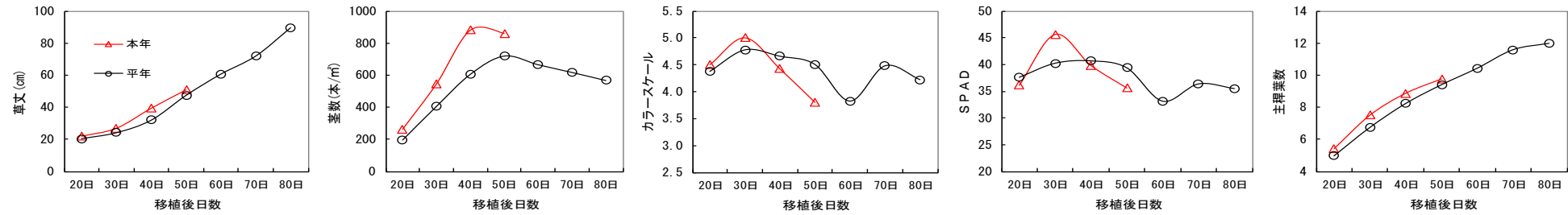
注) 予測は平成16、18年度成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づく。

今後気温が平年並に推移した場合の予測。

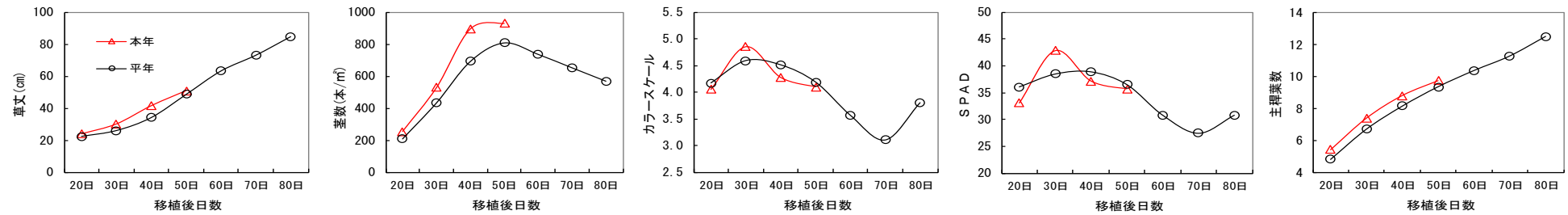
※ 平年は平成23～27年の5年間の平均値。

平成28年の生育経過グラフ

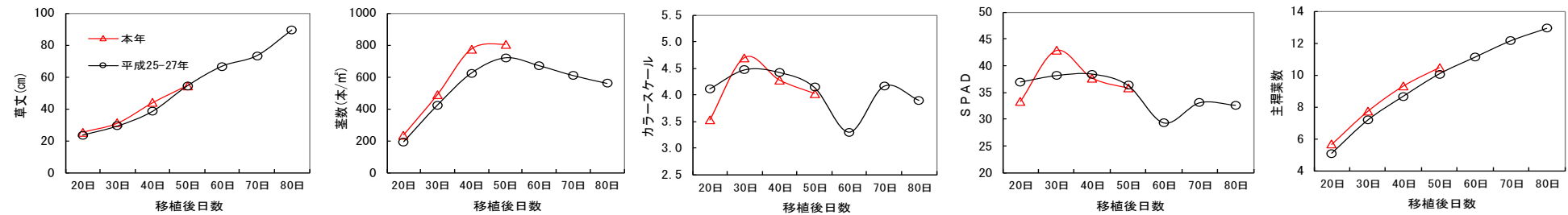
あきたこまち
4月27日移植



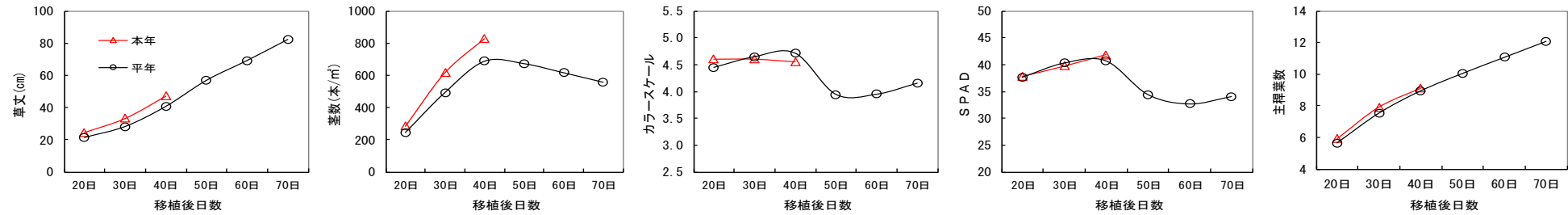
コシヒカリ
4月27日移植



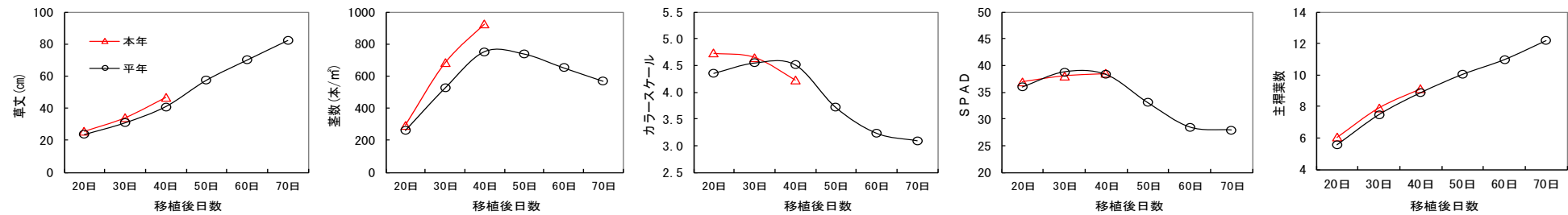
ふくまる
4月27日移植



あきたこまち
5月6日移植



コシヒカリ
5月6日移植



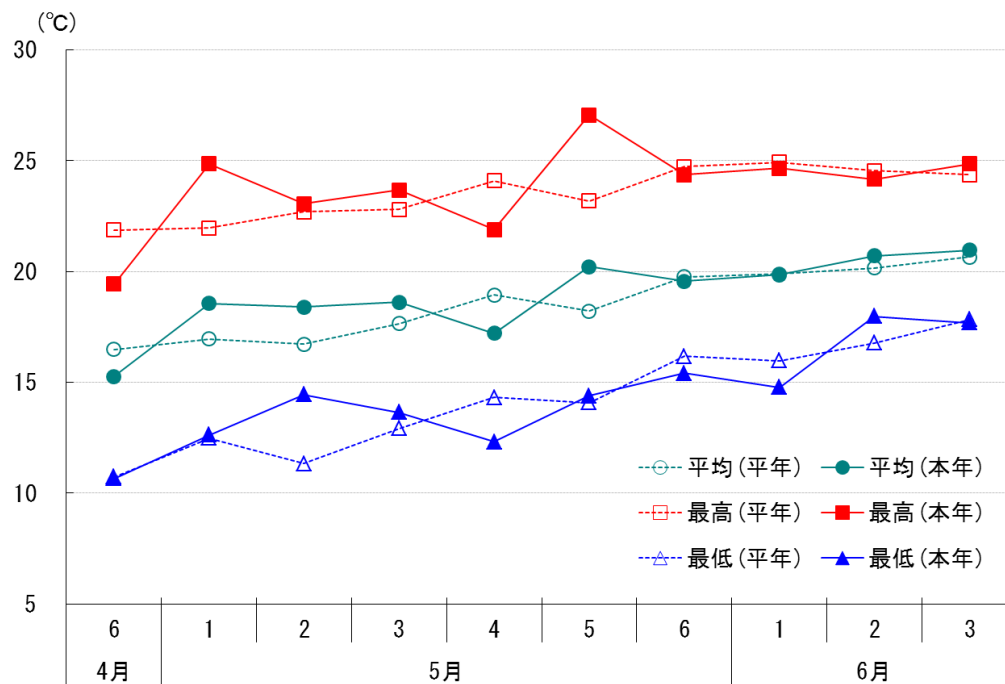


図1 半月別気温の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：H23-27年の5年間の平均値

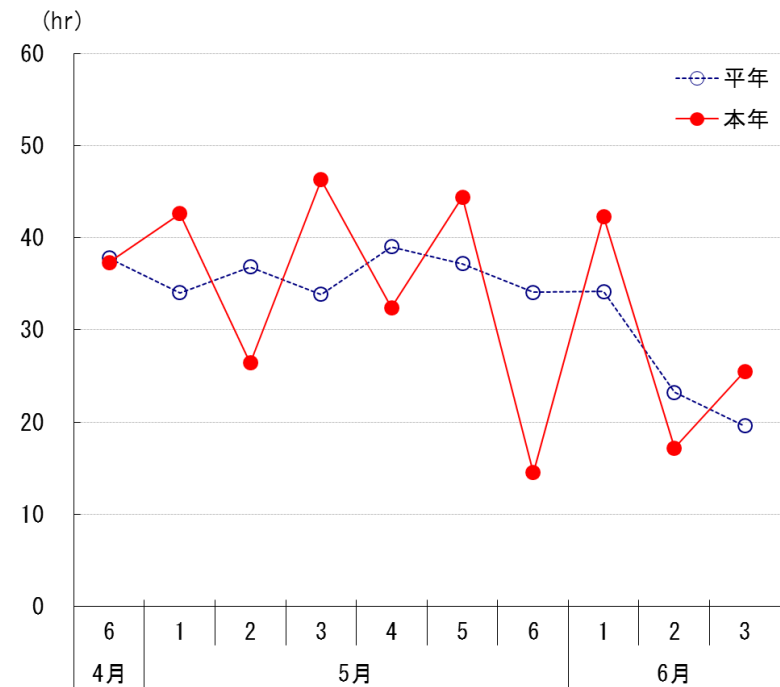


図2 半月別日照時間の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：H23-27年の5年間の平均値

表4 移植時期別気象条件（龍ヶ崎市）

移植時期	期間	平均気温(°C)			積算平均気温(°C)			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
4月27日移植	4月第6半月～6月第3半月	18.9	18.5	+0.4	966	947	+19	329	330	100
5月7日移植	5月第2半月～6月第3半月	19.4	19.0	+0.4	797	780	+17	249	258	97

注）平年値：平成23～27年の5年間の平均値

【 4 月 27 日移植の生育状況 】 撮影日:6/16

あきたこまち



コシヒカリ



ふくまる



【 5 月 7 日移植の生育状況 】 撮影日:6/15

あきたこまち



コシヒカリ

